

なないろ森の園便り

NO.4 平成29年8月4日

文責 肥野真紀子



ペタペタ

素材を工夫すると

遊びが豊かになります。

小麦粉粘土との最初の出会いです。「白、黄色、ピンクの粘土に園児たちは大喜びでした」と書きたかったのですが、、、

期待どおりにはいきませんでした。反応はさまざまです。

- ・最初から、わっと飛びつく子。
- ・おそろおそろ指でさわっては急いで指をひっこめる子
(初めての感触に驚いています。でも、興味深々です)
- ・さっさと思いのものを作り出す子 (手慣れた様子です。)
- ・粘土の感触を楽しむ子。

(この過程をじっくり味わわせたいと思っています。)

・手にくっつくのを「いたい」と表現しながら楽しんでいる子など
この反応は、こどもの生活経験によって変わってきます。この時期のこどもは実際の体験によって学びます。だから、保育園での遊びはとても大事になってきます。

園では、いろいろな素材との出会いを大切にしたいと思っています。保育士たちは、遊びが広がるような素材について勉強しているところです。この「小麦粉粘土」は福住先生が用意してくれたものですが、とてもよい素材だと思っています。

まず、安全です。長く使えます。遊びが広がります。なによりもこの感触はたまりません。この感触から、子ども独自のことばが生まれます。「ぺちゅぺちゅ」「ぺたぺた」「とろとろ」「さらさら」そして、それが財産となり、ことばを聞いただけでイメージが広がり、その子の感性をゆたかにしてくれるはずです。家でも簡単に作れますよ。



そのあと、いきなりではありませんが

なかなかいい感じだ

いきなり団子が出てきました。

給食の先生が「郷土のものを味わわせたい」とおやつに作られました。なんとなく感触が似ていると思われませんか？



ペタペタでも大丈夫

年長さんは小麦粉粘土に慣れていたせいか、すぐに、「もぐもぐごっくん」。他のクラスでは、はじめての子がほとんどです。皮をむいてお芋だけ食べる子もいました。お皿においたとたん、手にくっつくのが嫌なのか、ぶりやっていました。その動作のはやいこと思わず吹き出しそうでした。



消毒が済みました。

せみのにぎやかな鳴き声が暑さを演出しています。はちの出現で、プール遊びを控えた日もありましたが、29日(日)園庭の樹木の消毒が終わりました。思う



存分、水遊びができそうです。

お昼寝の時間の靴箱

かわいいでしょう

きちんと入れているつもりです

散歩に出かけるところです

帽子をかぶって

「帽子をかぶって」、「あちらのドアから、、、」と説明している濱島先生のはなしを真剣に聞いています。1歳児さんです。同じように頭に手を置いたり、指をさしたり先生の真似をしています。先生のこと

あっちのドアからか



帽子をかぶるんだね

ことが大好きです。保育士が暗い顔をしていると、園児は不安になります。この意味では、保育士は**大事な環境**といえます。だから、笑顔を絶やさないように心がけています。濱島先生は、今年からの勤務ですが、明るく元気いっぱいです。体当たりで頑張っています。

がんばれー莉砂先生